

伊豆市市長

菊地ゆたか 市政レポート

令和6年3月発行

〒410-2405 伊豆市加殿136-1

TEL 0558-99-9688

Facebook

菊地ゆたか後援会

検索



市民の命を守る防災対策に全力投球！

災害死者ゼロを目指す まちづくりをします

- ・木造家屋の「一部屋耐震」を推進。
- ・津波から逃れるための避難経路を整備。
- ・住み慣れた地区からなるべく近くに自主避難所を設置。
- ・(仮称)日向公園、道の駅「伊豆月ヶ瀬」を防災拠点として整備。
- ・災害対策の基本「自助・共助・公助」を市民に周知。

地元経済の発展を全面支援！

産業力の強化に努めます

- ・地元企業と連携して「稼ぐ力」を増大。
- ・人手不足に対応するため、従業員宿舍の整備を支援。
- ・地域の魅力を活用する観光まちづくりを推進。
- ・大規模災害に備え、建設・水道事業者等との連携を強化。
- ・300万人の観光客の消費支出増加を目指す。
- ・起業支援・企業誘致をさらに強化。

人口減少対策の推進！

人口減少のメリット・デメリット を有利に掌握していきます

- ・転入超過となった実績の継続。
- ・移住・定住促進をさらに強化。
- ・働く意欲のあるリタイア世代の誘致を強化。
- ・外国人労働者の生活環境を整備。
- ・修善寺駅、牧之郷駅周辺の都市整備を推進。
- ・住民を大切にす政策の継承。

	2020年	2050年
日本国	1億2,614万人	1億4,687万人
静岡県	363万人	283万人
伊豆地区(7市6町)	56万8千人	38万5千人
伊豆市	2万8千人	1万4千人

参照：国立社会保障・人口問題研究所
[日本の将来推計人口、令和5年推計]

安心安全のまちづくりを
着実に、確実に実行します



将来を担う人材育成を強化！

子育て全力宣言！伊豆市を 実行します

- ・市内の県立高校、小・中学校、こども園・保育園相互の交流を推進。
- ・部活動や校外教育など、児童・生徒の選択肢を拡大。
- ・子育て世代の所得増加を支援。
- ・給食を食育として位置づけ、地元産食材の利用を推進。

医療・介護をさらに充実！

子どもから高齢者まで安心して 暮らせる地域医療を確保します

- ・市内病院と診療所の連携をさらに強化。
- ・小児科診療を充実させます。
- ・あらたな技術を活かした遠隔診療を推進。
- ・災害時の救護体制を強化。

いずれはいずへ住もう！

魅力あるまちづくりに全力！

住民同士の助け合い 「共生社会」の実現をめざします

- ・地域づくり協議会の活動及び新たな協議会設立を支援。
- ・買い物・通院のための移動手段について、あらたな仕組みを構築。

美しい景観の創造

- ・故郷として誇ることのできる景観まちづくりを推進。
- ・自然景観と都市整備の調和を目指します。

次世代につなげる環境課題への挑戦！

地球を守り、持続可能な社会の構築に努めます

- ・脱炭素施策の推進。
- ・食品ロスの削減に努力。
- ・小水力・木質バイオマスなど、地域に適した新エネルギーを推進。
- ・子供たちが持続可能な社会について学ぶ場づくり。

信頼と実績

インフラ整備や、多種多様の
市民サービスと健全な財政を維持!!



菊地市政は、多くのことを 実現してきました



〈中伊豆温泉病院〉



〈グリーンセンターいず〉



〈道の駅伊豆月ヶ瀬〉



〈新中学校・防災公園 建設中〉



〈土肥津波避難複合施設 建設中〉



〈牧之郷ロータリー 建設中〉



東京2020大会
リカソン
2020 東京五輪大会
銀メダルストリート検定選手と

旧天城支所 (建物) を民間企業に減額売却した理由は

- ① 残存価値よりも解体費用の方が高い物件であること
 - ② 所有権移転により、購入した企業の年間負担は増える
 - ③ 所有権移転により市の負担が軽減される
- ・ 当該施設は残存価値約1億1千万円、解体費用約1億3千万円
 ・ 売却前の伊豆市からの賃借代 約410万円/年
 ・ 売却後の伊豆市からの土地賃借代+固定資産税 約640万円/年
 ・ 施設を継続するための維持管理に職員の業務費や建物の補修費等が発生する

伊豆市の財政

① 伊豆市の実質的将来負担は:約110億円 ② 伊豆市の基金(貯金)総額は:約100億円(償還可能額約70億円) ③ 伊豆市は健全化指数を全て:クリア

新型コロナウイルス感染症対策に万全を期してきました

① ワクチン接種を迅速に始めました ② 経済への影響を最小限に留めてきました ③ 今後も細心の感染症対策を実施します

人口の社会的動態(転入-転出)がプラスになりました	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	-247人	-108人	-70人	+9人

菊地ゆたかプロフイル

- 昭和33年 伊豆市本柿木生まれ
- 昭和46年 狩野小学校卒
- 昭和49年 天城中学校卒
- 昭和52年 韮山高校卒業
- 昭和56年 防衛大学校卒業
- 昭和56年 防衛庁入庁(陸上自衛隊)

- 平成4年 総合商社研修
- 平成5年 国連モザンビーク平和維持活動
- 平成12年 在ドイツ日本大使館
- 平成15年 第5普通科連隊長
- 平成17年 内閣官房
- 平成19年 防衛省退職
- 平成20年 伊豆市長に当選

- 伊豆市長
- 日本赤十字社 理事
- 全国市長会 理事
- 静岡県椎葉産業振興協議会 会長
- 静岡わさび農業遺産推進協議会 副会長
- 全国森林レクリエーション協会 理事(東京支部長)
- 全国治水砂防協会静岡県支部 副支部長
- 美しい伊豆創造センター 理事
- 伊豆半島ジオパーク推進協議会 会長
- 日本下水道事業団 理事(非常勤)
- 静岡県市長会 会長
- 田方消防 管理者
- 伊豆保健医療センター 理事長
- 全国市長会経済委員会 副委員長
- 伊豆総合高校 後援会長

＜元職＞

- 伊豆半島ジオパーク推進協議会 会長
- 日本下水道事業団 理事(非常勤)
- 静岡県市長会 会長
- 田方消防 管理者
- 伊豆保健医療センター 理事長
- 全国市長会経済委員会 副委員長
- 伊豆総合高校 後援会長

菊地 ゆたか

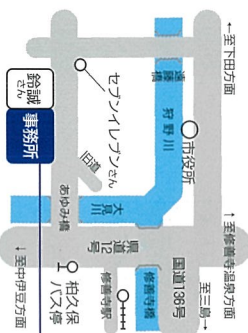
『市政報告会』

～市制20周年から未来へのステップ～

日時 令和6年
3月30日(土) 15時～16時

場所 伊豆市民文化ホール
(生きいきプラザ)

皆様のご参加をよろしくお願い致します。



菊地ゆたか 後援会事務所

〒410-2405 伊豆市加殿 136-1
TEL 0558-99-9688

Facebook

菊地ゆたか後援会

検索